

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース
- (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法
- (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充
- (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日（火） 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>① 願橋の架橋で畠敷地区と十日市地区の動線が変わった。また、市民ホールの建設も進み、これを機会に巡回バスの巡回コースの見直しをしてほしい。例えば、JR三次駅を起点に、福祉保健センター、畠敷、四拾貫、南畑敷、中央病院、十日市、三次、願橋経由でJR三次駅といった巡回コースの実現を望む。</p>	<p>市街地の循環バス「くるるん」、また庄原方面を含む路線バスについては、運行事業者の備北交通と協議しながら現在再編を検討しています。</p> <p>また、今年度、アンケートや実態調査を含めながら地域にとって望ましい公共交通のあり方について、公共交通網形成計画を策定する予定です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>市街地循環バス「くるるん」については、来春一部経路の変更を予定しています。</p> </div>
<p>② 尾道松江線の開通による交通量の増加と、速度超過で通行する車に対する安全対策をしてほしい。</p> <p>県道434号線（県道和知三次線）では、下畠敷の交差点に右折車線がないため、通勤時間帯の渋滞が慢性化している。通学時の子どもたちは信号に従って横断していても、信号無視して交差点に進入する車と遭遇する危険が繰り返されている。時差式信号など安全対策に取り組んでほしい。</p> <p>また、国道183号では、通学時の子どもたちの安全性の確保のため、下井・三次花壇付近（四拾貫町）の交差点に信号機を設置してほしい。</p>	<p>規制関係の内容については、市では対応できない部分がありますので、三次警察署や広島県公安委員会と協議をさせていただきます。</p> <p>交通安全に向けては、地域・行政・警察・学校関係者が一体となり、まずは課題整理の取り組みを進めていきます。</p>
<p>③ 巡回バスの乗車率をお聞きしたい。</p>	<p>平成25年度の平均乗車人数は約6人です。皆さんに乗車していただくよう取り組みを進めていきたいと考えます。</p>
<p>④ 道路の安全対策の対応について、縦割り行政が市民の安心・</p>	<p>道路管理者が広島県の場合、市の一存では対応できない部分がありますので、</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース
- (2) 灰塚ダム of 臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法
- (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充
- (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日（火） 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
安全を阻害しているように思われる。一日も早く安心・安全の施策をしてほしい。	要望のあったことを広島県へ伝え、しっかり連携を深めます。
⑤ 下水道事業について、平成20年度下水道基本構想説明書には、集合処理施設へ接続した方が有利と判断した区域と有利と判断されていない区域がある。この仕分け方法をお聞きしたい。 今後、下水道事業について計画の見直しがあるのか、事業認可を受ける計画があるのかお聞きしたい。地域での排水路の掃除に支障が出てくる。	管路延長にたくさんの住宅がある場合が有利で、不利というのは住宅が少ない場合です。 事業の認可を受けた区域の外側には、整備計画があります。現在、事業認可区域の整備に全力で取り組んでいますので、今後の展開については、もう少し先で考えることとなります。 下水道事業は、大きな計画の中で進めていますので、排水路の掃除については、各地域で対応を検討していただきたいと思います。
⑥ 三次市が発送した文書の誤送付について、責任が業務委託先にあるのかないのかをお聞きしたい。	業務受託業者が責任を認めています。ただ、市において間違いを見つけることができなかった点については、市にも責任があると考えています。今後、再発防止に向けて、チェック体制を整えていきます。
⑦ J R 駅舎をバスセンターと複合一体化することで、より利便性が高まると思うが、なぜそうしないのか。	できるだけ経費をかけないで、限られたスペースの中で有効的な施設を整備するというので今回の手法にまとまりました。なお、シェルターを施工して駅舎からバス乗り場やタクシー乗り場まで雨に濡れることなく移動できる対応も計画しています。 また、ホームをつなぐ跨線橋については、バリアフリーの対応をJ Rへお願いしています。
⑧ 市内中心部の道路の側溝蓋の整備が進んでいない。	三次高校周辺の道路のことかと思いますが、こういった整備ができるのかを検討しています。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法
 (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充
 (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日（火） 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
⑨ 子育てをしている若者にとって、本当に幸せな町が実現されるよう、小さな要望を大切にしていきたい。	これまでの10年間の市政運営は、都市機能の整備（ハード事業）に重点をおいて取り組んできました。今後10年間は、ソフト事業を充実させていきます。女性が働きながら子育てできる環境日本一をめざして、一つひとつ確実に実現させていきたいと思えます。
⑩ 新しい公的施設には、聴覚障害者が困らないように手話通訳者を配置してほしい。	三次市福祉保健センターでは、障害者支援センターと連携し、手話通訳の対応をしています。新庁舎が完成後は、福祉保健部が新庁舎へ移転するため、今後の対応について検討します。
⑪ 市政懇談会の資料から、「安全・安心」という今までのスローガンが消えたのは、実現することができなかったからか。	まちづくりの取り組みの柱として、当然、安全で安心ということを入れていきます。（市政懇談会配布資料P.2掲載）
⑫ 地方交付税が減っていく中で、三次市の財政状況について、本当にこのままで大丈夫なのか。	平成26年度予算では、公債費は18.8%となっています。この公債費77億1,000万円のうち利息は6億円です。そして、市債よりも公債費が上回っている状況です。市の預金となる財政調整基金は、約41億円です。市の財政状況を表す指標の実質公債費比率は13.1%、将来負担比率は平成24年度に69.6%となっています。これらの財政指標から将来の財政状況を予測いただけると思えます。現在、危険な状況にはありません。
⑬ 聴覚障害者の中には、手話のできない人もいます。要約筆記を必要としている難聴者、中途失聴者の立場を考えてほしい。	聴覚障害者には、手話と要約筆記の二つの方法でコミュニケーション支援が行われています。市役所では窓口には要約筆記ボードを設置しています。また、要約筆記のサークルの方による職員研修をしています。コミュニケーション支援は、障害者の社会参加のために必要ですので、ご意見を十分に聞かせていただき対応を検討したいと思います。

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【八次会場】

テーマ

- (1) 巡回バスの巡回コース
- (2) 灰塚ダムの臨時放流時における警報施設の設置及び警報手法
- (3) 尾道・松江道開通による県道三次和知線及びそれにつながる道路の安全施設の拡充
- (4) 災害時の畠敷地域の避難場所の再確認と新規設置

平成26年7月29日（火） 会場名 八次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
⑭ 八次地域では宅地造成が無計画に進んでおり、区画整理事業の必要性がある。この状態のままでよいのか行政の意見を聞かせてほしい。	住民と行政が協働したまちづくりをどう進めていくかということが問われていると思います。八次地区連合自治会を中心に八次地域のまちづくりはどうあるべきかを検討いただき、今できること、そして将来どうあるべきかを一つひとつ考え進めていくことが大事です。ただ、八次地域に区画整理を行うには、膨大な事業費を要するものと考えられます。とても大きな問題ですので、お互いに考えていきたいと思っています。
⑮ 道路整備における用地買収の考え方をお聞きしたい。	公共性によって変わります。集落の生活道の場合は、用地を寄附していただいています。そして、集落と集落を結ぶものや広域性のある道路については用地を買収させていただいてきたという状況です。他市でもほぼ同様な対応です。
⑯ 行政の責任の取り方が甘いから、職員の気が緩み、ミスがおこるのではないか。	ご指摘は真摯に受け止めさせていただきます。市民の信頼を損なうことのないよう再発防止に向けてしっかり取り組みます。